

牧之原市長 杉本 基久雄 様

要 望 書

令和7年9月

牧之原市議会

令和7年9月5日の台風15号によって、市内で発生した竜巻等災害により、大きな被害が発生しました。

今回の災害は気象庁の発表によれば風速75m/sと推定され、国内で観測された規模では最大といわれる竜巻に見舞われており、過去に例のない甚大な気象災害であります。

市職員はもとより、各関係機関をはじめ県内外からのボランティアの皆さんのご支援により復旧に向けた取り組みを進めていただいていることに対して心から感謝申し上げますところであります。

被災した地区では今もなお、がれきの撤去作業や飛散物の片付け作業などに追われており、今後の生活に対する不安を抱く市民も多数いることと思えます。

市議会としましても、復旧に向け、市と協力し取り組む所存であります。

早期の復旧に向けては、被災された皆さんに寄り添った支援が必要不可欠でありますので、次の事項について早急にご対応いただくよう強く要望いたします。

1 激甚災害の認定について

竜巻等により市内で発生した建物等への被害が甚大であり、速やかな復旧を進めるために災害支援の対象として、激甚災害として早期認定を行うよう国に対して要請すること。

2 災害廃棄物の処理について

がれき等の膨大な災害廃棄物が発生しているため、市が実施する災害廃棄物の処理について、国に対して予算確保及び早期の採択を要請すること。

3 財政支援について

災害復旧等に多額の経費を要することから、これらに全力で確実に取り組めるよう国においても必要な補正予算を編成するとともに、災害復旧事業及び災害関連予算の確保や特別交付税の特例的な増額配分を要請すること。

4 被災者支援について

被災された市民の皆さんが、一刻も早く生活再建ができるよう、支援に関するワンストップ窓口を設置すること。あわせて、心の相談窓口も設置し、被災された市民の皆さんに寄り添った支援体制を整えること。

5 職員の心身のケアについて

危機管理部門をはじめ、職員は、不眠不休で市民のために復旧支援にあたり並行して通常業務も行っている。国、県、他市町への応援要請を積極的に行い、人員を確保するとともに、市職員の心身のケアを実施すること。

令和7年9月16日

牧之原市議会議長 村田 博英